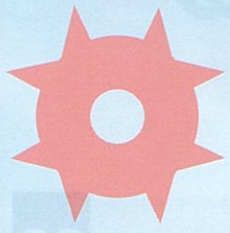


いかわ



NO. 136

平成30年10月15日
発行：秋田県井川町議会

町議会だより

新しい遊具でのにぎわい
(日本国花苑)



9 月議会
(会期・9月7日～14日)

第3回定例会	2	監査・人事	9
常任委員会審議	3	一般質問	10
決算特別委員会	4	議会だより編集委員研修視察	11
総括質疑	6	私のひとこと・議会のうごき	12
現地視察・陳情	8		

第3回

定例会 (9月議会)

9月7日~14日

29年度各会計決算審議

適正運営と認定する

9月議会定例会は、7日から14日までの8日間の会期で開かれました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に健全化判断比率並びに資金不足比率の良好報告を了承した後、平成29年一般会計と特別会計ならびに水道事業会計の9会計について決算審査特別委員会を設置・審議し、全ての会計を原案のとおり認定しました。

また、平成30年度一般会計と特別会計4件ならびに水道会計各々の補正予算案、下水道会計繰入れ案、水道会計剰余金処分案と人事案件2件を審査し、いずれも原案どおり可決、同意、答申した。
30年度一般会計補正予算は、1億4840万円を追加し、総額31億8610万円とするもの。

補正の主な内容

- 歳入：地方交付税986万円、国庫負担金2267万円、県支出金311万円、繰越金6050万円、借入れ金5220万円の追加
- 歳出：国花苑彫刻改修及び移設工事並びに巡回バス運行委託費の追加等で、425万円。県単事業の治山防災工事負担金400万円。町道・側溝整備費963万円。下水道事業への繰出し223万円。土木施設災害復旧工事費3500万円。借入金の上上げ償還9020万円など。



新たな学校調理施設

平成29年度 各会計決算総括表

単位：万円

会計種別		歳入額	歳出額	差引収支額	
一 般		37億9623	36億2905	1億6718	※1
特別会計	国民健康保険事業	7億157	5億9193	1億963	
	町診療所	1億501	1億501	0	
	介護保険事業	8億9960	8億6251	3708	
	介護認定事業	3067	2696	371	
	介護サービス事業	4億8385	4億8350	35	
	後期高齢者医療	4841	4841	0	
	下水道事業	2億5778	2億5770	7	※2

※印 翌年への繰越額あり ※1 2269万円 ※2 260万円

企業会計表示

水道事業	歳入額	歳出額	差引収支額
収益勘定	1億1714	9749	1965
資本勘定	0	5954	△5954

(千円以下をカット表示しており合計額の差異あり)

議会常任委員会の質疑

(総務産業・教育民生)

問 裁判の判決に伴う費用内訳及び、今後も情報公開に基づく事件が生じる可能性があるがその対応は。

答 今回の事件では、顧問弁護士との相談の際、着手金、成功報酬とも20万円で合意があり、消費税・コピー代、切手代等実費を加算し、22万2千円の弁護士謝金及び、損害賠償金8万円としている。尚、双方控訴せず、平成30年8月31日に判決は確定している。今回の請求については条例通りに対処しなかったのが原因であり、当たり前のことだが、今後は条例に従って対処していく。

問 国花彫刻移設承諾を得ているのか。移設場所、他彫刻作品の破損状況等は。

答 ご遺族に破損状況や移設除却等措置の話をし、了解を得ている。移設場所は安全性や景観を考慮して国花苑入口正面の花壇

内とした。

動く作品、金属系の作品の傷みは激しい。これまで実行委員会の予算で暫時修復していたが、資金も尽きており、今後は町対応が必要となることであり、メンテナンス等を実施していく。

問 さくら駅町営住宅の白アリ駆除は3棟で充分か。

答 さくら駅団地は21棟有り、その内2棟に被害が確認されており、1棟予備の3棟分の駆除費用を予定した。発生した2棟はいずれも線路側に建つ棟であり他5棟が同列に建っており、駆除業者に調査依頼し、結果次第では追加予算要求の可能性もある。

問 水稲作付地での太陽光発電事業の内容及び、許認可要件は。

答 水田面積9674㎡。うち転用面積0.873㎡。(架台足場面

積のみ)出力49・5kw。

一時転用は3年更新とし、ソーラー直下の農作物収量が設置前比2割以上の減収の場合、不適当営農と判断され更新が認められず撤去することになる。20年間の事業収支では一定利益を得れる試算値が出ており、町としても農業分野での有益事業と位置付け導入資金利

子分への補助をする。しかし初期投資が多額であることから、積極的な事業推進までには到っていないが、転用申請には相談に応じていく。

問 緊急車両が進入できない町道数を把握しているのか。町内会からの要望で整備着手するのか。

答 全力所については把握していない。町内会から要望がきた際に対応するというのが現状である。地権者からの同意を得るとい難題もあるが、調査を進めつつ、可能な限り改善に努める。町への

要望は、地権者への協力確認を経て町内会総意としての要望と解釈しているが、行政としても地権者の協力を確認し、事業着手時に於いては、地権者と直接交渉を行っている。

超過したものについては、超過時間に応じ優先的に修繕している。委託料は基数及び点検回数によって定めており、緊急対応回数には左右されない。尚、異常水位時パトランプが点灯するがポンプ稼動にて水位低下すれば消灯する。単なる高水位や機器の異常等、パトランプの点灯及び電子通報されるケースは様々だ。

問 下水道マンホールポンプの順次交換等の計画は。保守管理委託料は、緊急時対応出勤回数で増減するのか。

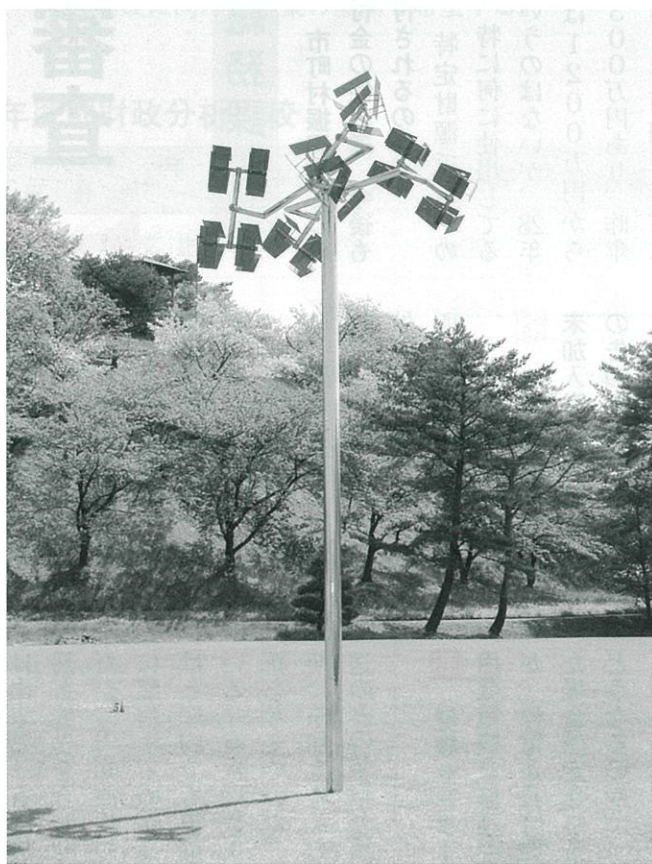
答 毎月、全43基を保守管理委託業者が点検しており、故障等発覚した場合、報告を受け、対応している。標準稼働時間を

問 巡回バス運行委託費用190万2千円の追加の内訳は。

答 運転手の人件費半年分100万円、他車両修繕費、保険費、諸税としている。これまで燃料費、修繕費は除外して運行委託契約を締結していたが、今後運行委託に直接対応した予算措置・契約締結をすることにより金額の大幅変動はない。

問 学校の警備委託先及び委託費用の内訳は。

答 警備保障会社アルソックへの委託。今後の予算計上は10月～3月までの半年分10万1千円と、警備機器設置工事費22万8千円を予定している。



移設修理が予定されている彫刻「宙の華」

平成29年度決算審査

厳しくチェック

平成29年度の一般会計、8件の特別会計の決算を9月10日から4日間決算特別委員会(委員長 石井 茂)で審査し、原案通り認定した。

総務課

問 市町村振興宝くじの交付金の使い道、今後も交付されるのか。

答 特定財源でないもので、特に何に使用してるといっているはないが、28年度は1200万円あり、昨年1300万円あり、昨年は900万円非常に減っている。貴重な財源なので無駄遣いのないよ

問 日本国花苑ものがたりは全戸配布したのか、関係者のみに配布したのか。

答 全戸配布はしていない。国花苑整備に係わった方や、駅、国花苑など、外から人が入ってくる場所に置いてPRしている。

問 有線放送の加入率と未加入者に対して災害等の告知を緊急放送だけ伝える仕組みを考えては。

答 有線加入率は77.1%で、緊急放送も技術的に

うにしたい。

は出来る。有線放送は通話と放送を合わせたものだが、告知放送のみ全戸に配信するのが良いのではと庁内でも議論されている。有線は数年内に更新を考えている。更新時期に未加入者との告知放送のみの契約も検討する。

問 健康センターの非常用発電機が修理中であるが、停電が長時間発生した場合想定される被害はどうか。

答 停電時、健康センターでどの程度の電気が必要か承知していないが、必要であれば手持ちのガソリン式の家用発電機で対応する。

町民課

問 シルバー人材センターは、現在社協に委託しているが十分な周知ができていないか。

答 当町は会員数等の問題があり社協に委託。会員増の取組みは行っているが申込が少ない状態で、業務内容も種類が少なく、

草刈が主である。町としてシルバー人材センターを独立させたい思いはあるが、それには町内企業へのPRなど需要の確保や会員増を目指したい。

問 予防接種を拒否する事例はあるか。

答 法律により接種が義務となっているが、親のこだわりで接種しない場合がある。

問 町のごみ袋をメルシテイ潟上等町外店舗でも取り扱えば町民の利便性が高まるのではないか。

答 現在、イオンスーパーセンター五城目店でも取り扱っている。希望があれば提供している状況で、要望があれば検討する。

問 交通指導隊員は現在7名だが増員のための方策はあるか。

答 勧誘活動をするなど、努力しているが増員に至っていない。今後も勧誘を続け増員を図りたい。



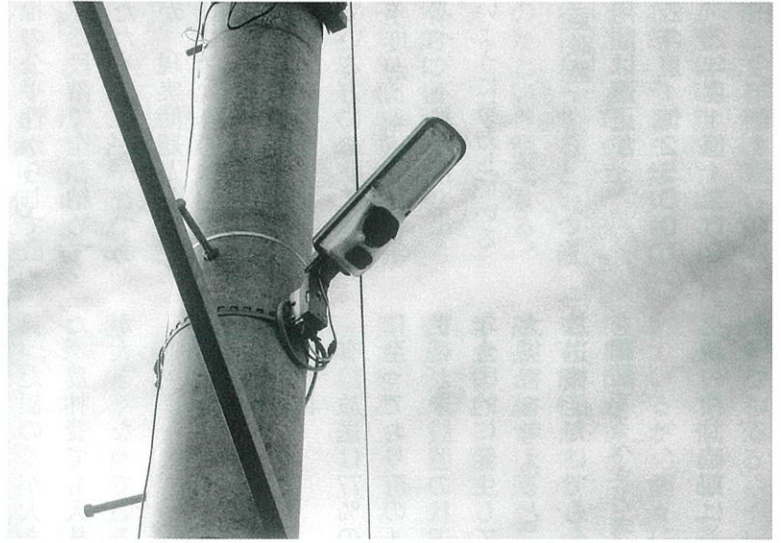
更新時にどう対応する有線放送

町の決算

教育委員会

問 なぜこどもセンターの年長棟に空調はないのか。

答 幼稚園棟は、午前保育で建設の際に必要なと判断。近年は高温になっているので涼しい場所に移動したり配慮はしてる。空調は、一般家庭用では対応出来ないので財政等と相談し検討する。



「みなくる」内に設置の防犯カメラ

問 防犯カメラ設置場所は義務教育学校から、みなくる間の県道とあるが詳しくは。

答 みなくる敷地内で県道沿いの電柱に設置。街路灯と一緒に設置。防犯カメラで子供たちが義務教育学校から、みなくるへ施設利用するときの安全確保のため。

産業課

問 平成29年度をもって町の橋梁点検は終了なのか。

答 今年度に12橋実施することにより全59橋の点検が完了する。

問 栗園再生作業委託の内容は。

答 苗木15本植栽、下刈り月1回程度、施肥、

問 義務教育学校の登下校にバスを利用しているが、旧小学校では途中下車し徒歩での通学としていた。安全性を重視しているが、脚力低下するのではないのか、対策は考えているか。

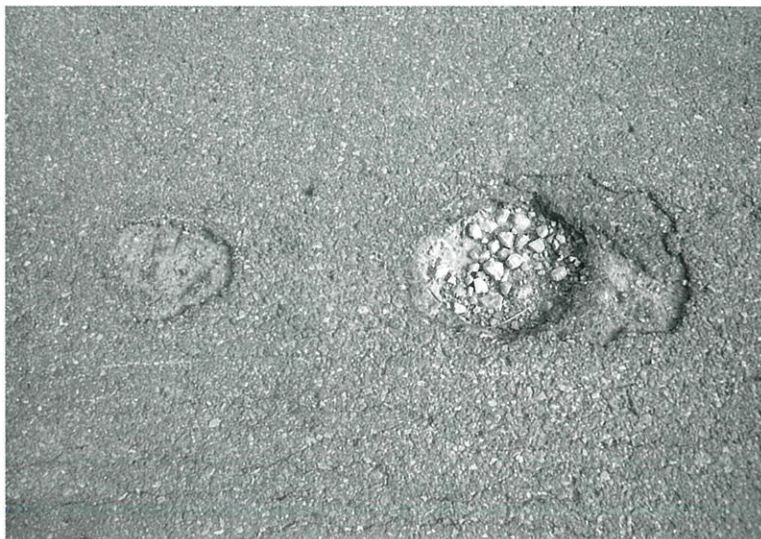
答 子供の体力を心配する声もあり、体力面が低下しないように学校の中で体力維持したり、向上させるような取組みを学校に指導・助言している。

間伐及び整枝1回程度である。

問 道路補修の町の対応の遅さをどう捉えるか、仮補修等で早急に対応すべきではないか。

答 補修に要する材料を

準備する関係で、ある程度の件数を包括発注しているのに対応が遅れることもある。今後は、必要に応じて職員による応急処置をし、早急な対応に努める。



早急に対応すべき道路補修

検証をふる里のために生かせ

総括質疑

29年度決算全般に関する質疑・答弁

は万金か

遠藤政勝

不納欠損の対応は適正か

まじめに納めている方と不納欠損によりゼロになく方では不公平感がある。

町長

納付相談や納付計画をたて対応

税の公平性からして徴収する段階で全額納めていただくことが一番であるが、現実問題として生活に困っている方もおり、その方の納付相談や計画をたてている。分割で納めている方においては古い年度から充てており、なるべく不納欠損を出さないように努力している。

遠藤政勝

不用額は適正か

27年度1億2500万円、28年度1億1200万円、今年が1億700

0万円の不用額がでている。節約してこの額なのか、当初の見積りが過大だったのか。繰越明許があるとしてもこの額は妥当なのか。

町長

妥当な線引きは難しい

毎年民生費の不用額が多くなっている。特に今年度「みなくる」の建設費で民生費が大きくなっている。もともと算出している額と入札して請け負った額の差が大きかった。農林費でも入札関係が大きくなっている。

湊 文博

有線放送未設置先の対応を早急に

有線放送は77%の設置に至っており町の1/4世帯が未設置の状況。近年全国的に発生している大災害を考えると、緊急放送機能だけでも全世界帯を網羅するべきと考える。

町長

更新の検討時期に差し掛かっている

最近の災害において有線放送の活用の話はでていた。有線放送の更新時期が近付いており検討する時期に差し掛かっている。もちろん災害対応は喫緊に対応すべきと考える。全国的に行政が発信した情報が住人に伝わっていない現実があり、行政と住人がどのように対応していくかという議論が必要である。時期的なものとならざるを得ない。行政状況・進展状況を踏まえながら考えていく。

湊 文博

学力低下を心配する保護者もいる

昨年度より小学校の夏休み、冬休みの宿題が極端に減って休み明け後のテストも無くなっている。他町村では例年通りテストを実施している中で本町が踏み切った狙いは。

教育長

保護者に納得いただけるよう説明に努める

宿題を大幅に減らし、その代わり一人1研究（自由研究）の課題を新たに課した経緯がある。家で自分で出来ることを沢山させる。こういう力をつけることが本来の夏休み冬休みの趣旨であろう。子どもたちが関心のあふれる事を自由にやらせることが大事。これによって学力の低下をきたすことは決してない。

松田弘咲

河川の浚渫で災害予防につながる早急な対応を

河川の被災護岸の修復が実施されている。しかし河床の高さは改修されず危惧している。昨年の話では河川の保安全管理は県管轄であるため要望しているという回答だった。進展および進捗はどうなっているのか。

町長

引き続き要望していく
河川の浚渫要望について



河川の浚渫で災害予防策を

ては各市町村とも相当数ある。本町では地域振興局も含め県に要望をしている。進捗としては殆ど動いていないのが現状。災害対応の優先順位は護岸再整備が優先されているため、浚渫等の対応にまで至っていない。今後とも引き続き要望していく。

浅野義幸

要請を受けてすぐ直さなものは何故か

カーブミラー、道路の補修等について町内から要請があつて1カ月以上放置されている。

災害への備え

補修するわけでもなく穴が空けば空きっぱなしの状態。予算が無ければ手を加えないのか。町民からするといつ直すのかという話になる。

町長

基本的にはすぐ直す

予算等は無視できないことと考えている。カーブミラーを直せなかったことと道路の穴の補修は予算の絡みとしては基本的に違う。基本的には道路に穴が空いたら直ぐに対応する。現実的には資材の調達等もあり何か所かまとめて補修しなければならぬことを理解いただきたい。

伊藤俊郎

応援之印は町で作成するべきでは

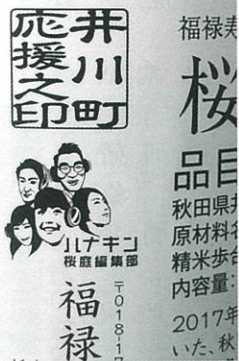
特産品開発研究会の開催は29年度1回のみで終わったのか。また、応援之印は町で作成して使用する方々に配布する

べきと考える。インターネットで作ればよいと聞いているが、個々によっては印が違うマークになる可能性がある。また特産品が莫大に販売可能になったとき偽造という問題が出てくる。井川町応援之印の使用数を限定するののか。

町長

応援之印は特産品開発のなかで作る

開催の状況は29年度1回であり、必ず私も参加するということではなく、



「井川町応援之印」が押された桜名月

会員の中で進めていただくことになっている。

特産品開発のなかで応援之印を作り使っている。

シールは配布しており、商品によって元々のデザインの中に組み込めるものと組み込めないものがあるのでサンプルを作って使用。その状況しだいでは配布なりを考える。

自分たちで商品に組み込んでいる場合にはデータを提供しているので基本的には別の印章になりたりすることはあり得ない。

進んでいく方向は私が提案して進めてきたが、最近私が参加していないため、特産品研究会がどのような議論をしているか承知していない。特産品開発研究会として8品目が開発された。今後の特産品開発研究会としては、次に繋がる何かを考えることと、今は栗再生事業を進めているので栗を使った何かを考えられる。

進んでいく方向は私が提案して進めてきたが、最近私が参加していないため、特産品研究会がどのような議論をしているか承知していない。特産品開発研究会として8品目が開発された。今後の特産品開発研究会としては、次に繋がる何かを考えることと、今は栗再生事業を進めているので栗を使った何かを考えられる。

浅 文博

新たなイベントの予定は

はつらつ歩こう会の終わりから2年になる。代わるイベントの考えは。

町長

今は考えていない

はつらつ歩こう会に代わるイベントは考えていない。本町は行政が主導して行なうイベントが相当数ある。他の自治体は行政主導ではなく、様々

な団体が主催となるケースもある。今行っているイベントについては一定の評価をし、継続するか形を変えて開催するか検証し判断する。

浅野義幸

進む方向性が見えない

特産品開発研究会の進むべき方向性が見えないように最近感じる。

町長

今後は次に繋がる何かを考えること

進んでいく方向は私が提案して進めてきたが、最近私が参加していないため、特産品研究会がどのような議論をしているか承知していない。特産品開発研究会として8品目が開発された。今後の特産品開発研究会としては、次に繋がる何かを考えることと、今は栗再生事業を進めているので栗を使った何かを考えられる。

遠藤政勝

一時カットした報酬を戻す時期では

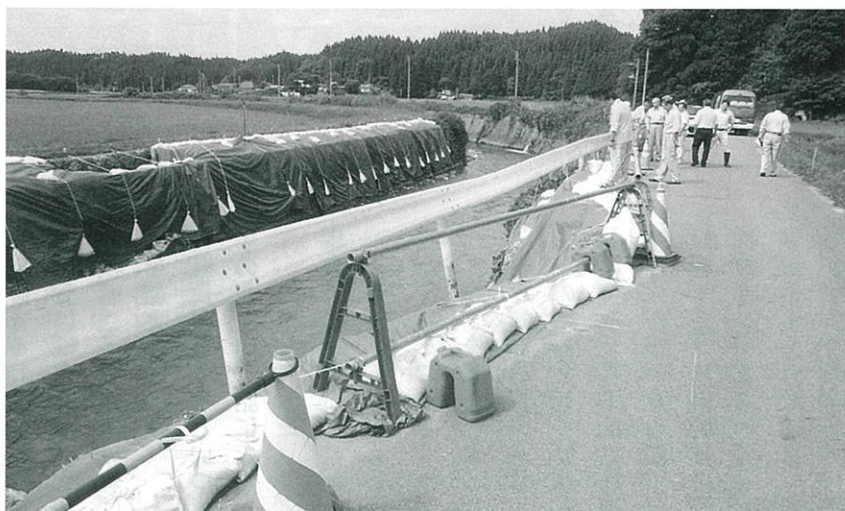
平成17年、我が町の単独での自立が決まった。先々大変になることを考え、特別職あるいは一般職、各種団体の報酬を一時カットした。あれから年数がたち心配した交付税等のこともなく数字的にも問題はない。報酬等そろそろ元に戻すことを検討する時期ではないか。

町長

この先を考える現状を維持すべき

自立計画を作成したときに町長15%、助役、収入役、教育長および議員の方には一律10%カットをお願いした。確かに財政状況は当時に比べて改善はしている。しかし、今後人口減少に伴う財政が厳しくなると見込まれ、今後地方交付税も何億単位で減る算定がでている。現状として特別職について言えば現状のまま維持するべきと考えている。

災害等各現場の視察



大麦井内線道路災害現場

8月20日、議会で八郎湖周辺クリーンセンター及び、町施設の町民武道館相撲場・日本国花苑遊具・こどもセンター保育室等エアコン設置工事・町民球場バックネット設置工事等の使用管理状況、先の災害被災地の井内神社付近土砂崩れ・大麦井内線道路災害現場の状態、各道路舗装補修工事等の現場を視察し、現状を把握した上で、今後の活用や改善点等を確認した。

議員研修報告

地方自治の振興に資する

研修名 南秋田郡町村議会議員大会
 研修期間 7月20日
 研修場所 サンルーラル大潟
 演題 「輸出促進活動から見えた これからの農業」
 講師 大潟村産業建設課
 農業アドバイザー 松橋 秀男氏
 参加議員 11名

わかりやすい議会広報を目指して

研修名 秋田県町村議会広報研修会
 研修期間 8月1日
 研修場所 秋田市「ルポールみずほ」
 演題 「住民に読まれ 伝わる」
 講師 広報コンサルタント 芳野 政明氏
 参加議員 7名
 議会広報の基本と編集

議会活性化の手法を学ぶ

研修名 秋田県町村議会議員研修会
 研修期間 8月1日
 研修場所 秋田市「県市町村会館」
 演題 「真の地方創生実現に向けた地方議会の役割」
 講師 東京大学法学部教授 金井 利之氏
 演題 「どうなる!? これからの政治・経済の展望」
 講師 経済ジャーナリスト 須田慎一郎氏
 参加議員 11名

陳情

9月定例会には陳情2件が上程され、審査の結果1件を採択、1件を継続審査とした。

採 択……………全員一致

◎消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書

秋田県商工団体連合会

会長 小玉 正憲

継続審査……………全員一致

◎食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的見直しが必要です

生き物共生農業を進める会

代表 今野 茂樹

美しい八郎湖を次代に残す会

代表 桑原 秀夫

(有)ライスランド大潟

代表 山田 隆介

町監査委員会審査の総括的意見《要旨》

審査の結果、一般会計、特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書等の計数は関係帳簿及び証書類と符合しており、正確なものと認められた。また、予算の執行状況並びに会計経理事務及び基金の運用状況等も適正と認められた。

なお、各会計における納付金等に係る収入未済額（繰越明許費未収特定財源を除く）については、前年度と比較して国民健康保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、下水道事業特別会計の減少となったのに対し、一般会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計は増加となっている。また、不納欠損額については、前年度と比較してそれぞれ減少している。

また、町税等の滞納繰越分に係る収納率については依然として低く、未収金の新規発生の防止に努めるとともに、さらに有効な徴収方法を講ずるなど、適切な債権管理を行う必要がある。

平成29年度においては、小中一貫校給食調理施設整備事業、子育て支援多世代交流館整備事業、辺地等道路舗装補修事業、役場庁舎改修事業等社会基盤整備事業を実施するなど、町政の進展に成果を得ているが、今後はより一層、行財政を取り巻く環境が厳しくなることが予想されることから、さらなる行政改革や職員の能力向上と意識改革を進めつつ、事務事業の適正かつ効率的な執行と経費の節減につとめ、急激な社会経済情勢の変化への確に対応することが求められる。

また、人口減少対策や高齢者の増加に対応したきめ細かな施策の展開や、子育て支援対策の充実など、多様化する住民ニーズへの対応を念頭に置きつつ、住民福祉の増進につとめ、第4次井川町総合振興計画の基本理念の達成に向けた施策の展開を希望する。

井川町監査委員 工藤 侑・白川 雅孝

年度別財政分析比較

区 分	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備 考
経 常 収 支 比 率		79.2%	81.2%	82.5%	町村にあっては70%程度が妥当といわれ、75%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといわれている。
実 質 収 支 比 率		8.5%	8.5%	7.5%	剰余又は欠損の状況を財政規模との比較で表したもので、3～5%が望ましいといわれている。
公 債 費 比 率		10.8%	10.1%	9.5%	通常、財政規模の健全性が脅かされないためには、この比率が10%を超えないことが望ましいとされている。
財 政 力 指 数		0.224	0.227	0.231	財政上の能力を示す指数をいい、この指数が1に近いほど財政力が強いといわれ、1を超えると交付税が不交付になる。
地方債許可制限比率		5.4%	5.4%	6.1%	過去3カ年度間平均で20%以上になると、起債の許可が一部制限されるので、15%を超える団体は特に地方債の管理に配慮する必要があるとされている。
実 質 赤 字 比 率		-	-	-	一般会計の実質赤字を比率で表したもので、15%を超えると財政の早期健全化が必要とされ、20%で財政再生団体となる。
連結実質赤字比率		-	-	-	特別会計を含む全会計の実質赤字を比率で表したもので、20%を超えると財政の早期健全化が必要とされ、40%で財政再生団体となる。
実 質 公 債 費 比 率		6.5%	6.6%	7.7%	公債費等の経費の比重を示す比率で、25%を超えると財政の早期健全化が必要とされ、35%で財政再生団体となる。
将 来 負 担 比 率		-	-	-	一般会計が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率で、350%を超えると財政の早期健全化が必要とされる。

※「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」の「-」は、赤字ではない場合の表記方法。

※「将来負担比率」の「-」は、比率が「0」または「マイナス」となる場合の表記方法。

人事案件



人権擁護委員の推薦

湊 正 明 氏 (横岡町内)

提案理由

遠藤政勝委員12月31日任期満了となるため
任期 平成31年1月1日から3年間

教育委員会委員

再任

幡 宮 明 貞 氏
(八幡町内)

一般質問

ひんぱん 頻繁に起こる豪雨対策には万全を 防災対策をもう一度再考



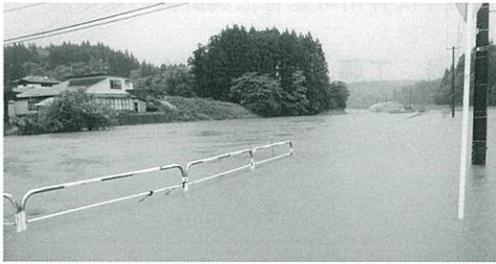
遠藤 政勝
議員

問 5月の記録的な豪雨、7月の西日本豪雨、9月には非常に強い台風21号の災害が続いている。湖東地域の全般に被害が出た場合、湖東地区消防本部からの応援体制は。

答 防災対策をもう一度再考。湖東地区消防本部は、町の救助に対応することになる。対応が大変な場合は、県全般の広域消防相互応援の協定を活用することもある。まずは人命救助が第一。連携、情報共有を行いながら対応する。

問 記録的豪雨、「井川」の堤防もすれすれ、浸水も心配。ゴムボート等の最小限度の器材の整備は。

答 町ではゴムボートなし。小型ポンプ14台、土のう1000個等。湖東地区消防本部はアルミボート2隻、八郎湖での



5月水害、宇治木地内

捜索を想定。消防本部と話し合いが必要。

問 災害時の消防団員の協力は不可欠。幹部、分団長からの連絡方法は個人の携帯電話で対応するのか。

答 連絡は自主参集、有線、携帯電話を使用。招集後はトランシーバーと携帯電話を使用。トランシーバーは範囲が狭く、機器の更新を検討。携帯電話は費用をみるのも一案。

問 西日本豪雨の被災自治体の多くが「ハザードマップ」を作成。でも被害を抑え切れなかったと報道、住民への正確な情報を伝える等、避難訓練等が大事と考えるが。

消火栓と防火水槽用地の登記は 過去の台帳の整備をしている

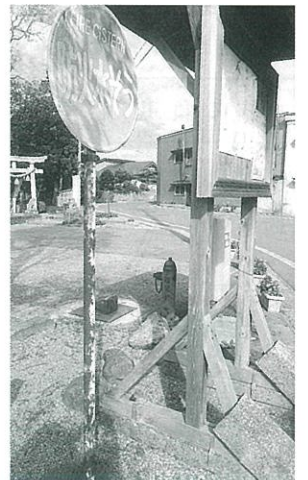
答 浸水が「ハザードマップ」より拡大している。問題点の見直しに向けて準備している。今年度から自主防災組織活動補助金を制定。訓練等の活動も活発になってきている。関係機関と連携した防災訓練をしっかりと行い、周知もしていく。

※「ハザードマップ」とは自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。町では平成28年2月に全戸配布済み。

問 用地の登記の状況はどのようになっているか。

答 防火水槽57基の内、公共用地は12基で登記済、45基は民地に善意で設置。未登記である。

問 用地は地権者の善意で提供されており、登記等はきちんとすべき。登記



今戸地内の防火水槽

記は専門家に委託し、担当者は記録として残しておくべきと思う。

答 民地は善意によるもの。分筆、売買等はかなり難しい状況だ。借用書、承諾書等の契約書等で対応している。現在、過去の台帳の整備をしている段階だ。

まちづくりの将来像は 大きく2つの柱を目標

問 町長の日記抄に6年1組の町おこし提案書の一部が紹介されており、これを踏まえ、現時点での町長のまちづくりの将来像は。

答 提言を頭に置いて、現時点での課題、子供達が大人になった時どういう町になったらよいか。2点を考えている。

1、住みよいまちづくり、住んでよかつたというまちづくり。高齢者が健康で生活できる。又、安心して子育てができるまちづくり。若い世代も自分で良くするための参画を。

2、誇りの持てるまちづくり、町の認知度の向上、町外からの誘客、特産品の開発。町の自慢できる物を増やす。町民がどうとらえているか。自慢できるものを町民がPRすることが誇りにつながるのでは。

議会だより編集委員行政視察



表紙を題材にした研修

目的

議会だより編集委員のスキルアップ（技術向上）を目指し、先進地視察研修を行う。

場所

山形県東置賜郡川西町川西町議会

期間

7月26日～27日

川西町は山形県を貫く最上川の上流でこの川の西側に位置しているので川西町という町名。

今回の視察先は、全国の町村議会広報の中でトップクラスの評価を得ている山形県川西町議会を訪問した。

こちらでは議会だより発行の目的として「町民参加の拡大」と「政策提言」の具現化のため広報広聴の重要性を認識し、その充実に努めるとし町内から8名（男性4人女性4人）の方を広報モニターとして依頼、議会等に対する意見を「モニターからひとこと」と題して掲載、「町民の声」その他町民参加の記事をできるだけ多く載せている。

また議会だよりの編集にあたっては、町民の中から写真アドバイザー（写真愛好者）、文章アドバイザー（教員経験者）を委嘱し、広報の編集過程でアドバイザーを受けながら記事を制作、町民と一体となった広報づくりに取り組んでいる等、多くを学ぶ研修となった。



川西町編集委員と

※川西町広報委員会では「記者ハンドブック」（新聞用字用語集）を常備、正確な用語で広報づくりをしている。さっそく当編集委員会でも「記者ハンドブック」を購入することにした。

私の

ピンピン コロリ



高橋 正男
(新聞)

私は現在66歳ですが、高血圧症と前立腺肥
大症の治療のため、高血圧は9年前から、前
立腺は15年前から薬を常用しています。
他に、発作性心房細動の持病があり、この病気
は忘れたころに何かの原因で突然発症、脈が不規
則で弱くなって体の力が抜け、歩くことが出来な
くなりません。
そのため、遠出する際には必ず薬を携行するよ
うにしています。
このように病気持ちの自分は、日ごろから健康
のために運動をするように心がけています。
毎朝20分のストレッチ体操、歩くときは早足、
エレベーターやエスカレーターには乗らずに出来
るだけ階段を使うようにすることや時間を見つけ
てはサイクリング、ゴルフ、山登り、スキーなど
の運動をするようにしています。
日本の男性の平均寿命は約81歳ですが、介護を
受けたり寝たきりになったりせず日常生活を送れ
る健康寿命は約72歳と言われます。
今年、田植えの忙しい時期に急性胃腸炎、帯
状疱疹、心房細動と立て続けに病気にかかり、9
月には急性尿閉のため救急病院で治療を受けたの
で、改めて健康の有り難さを実感しました。
こんなことがあったため、自分は健康寿命の72
歳まで後6年、そろそろ人生の終末に備え終活を
少しずつ始めようかと思っています。
少子高齢化社会でもあり、健康で長生きし家族
などから介護の世話にならずにピンピンコロリと
人生の終焉を迎えたいものです。

議会のうごき

- 7月19日 第54回井川町老人クラブ大会
(農村環境改善センター)
- 7月20日 平成30年度南秋田郡町村議会議員大会
(大湯村：サンルーラル大湯)
- 7月26日～27日 議会だより編集委員先進地視察研修
(山形県川西町)
- 7月31日 平成30年第4回議会運営委員会(役場：正副議長室)
- 7月31日 平成30年第1回井川町議会臨時会(役場：議場)
- 8月1日 秋田県町村議会広報研修会
(秋田市：ルポールみずほ)
秋田県町村議会議員研修会(秋田市：県市町村会館)
- 8月5日 平成30年度夏の交通安全運動井川町町民総ぐるみ
飲酒運転撲滅キャンペーン(町民体育館)
- 8月7日 井川町戦没者追悼式(農村環境改善センター)
- 8月8日～9日 井川町湯上市共有財産管理組合視察研修
(山形県新庄市)
- 8月15日 井川町成人式(農村環境改善センター)
- 8月17日 井川町全町盆踊り大会(町民体育館)
- 8月20日 井川町議会議員施設・現場視察
(八郎湖周辺クリーンセンター・町内各施設)
- 8月27日 平成30年第2回井川町議会全員協議会(役場：議場)
- 8月28日 議長・副議長・議運委員長会議(役場：正副議長室)
- 8月29日 平成30年第5回議会運営委員会(役場：正副議長室)
- 9月1日 秋田県消防操法大会(由利本荘市：県消防学校)
- 9月5日 井川町敬老式(町民体育館)
- 9月7日～14日 第3回井川町議会定例会
- 9月7日 議会だより編集委員会(以降5回)

編集後記

今年の夏、秋田県の
大きな出来事は、金農
野球部の活躍だろう。
甲子園での連日の試合
では秋田県内はもちろ
ん全国から応援をいた
だき、見事、準優勝に
輝き県民の大きな喜び



となった。
出来秋をむかえ稲刈
りに精を出す農家も多
い中、今年の作柄はあ
まり良くないようで、
私も米を作っているが
場所によっては一、二
割減収の圃場も。空を
相手の商売なので、致
し方ないか。

今年4月開設の子育
て支援多世代交流館「み
なくる」が町内外のた
くさんの方々に利用し
ていただいております。今
後も色々なイベント等
で賑わいを続けてほし
い。同じく4月開校の
義務教育学校、県内外
からたくさんの方々が
生徒が来校する中、児童
生徒は落ち着いて学習

やスポーツに励んでい
るとのこと。2つの大
きなプロジェクトが順
調にスタートしたこと
でまずは一安心、後は
利用する子供、入学す
る生徒が少しでも増え
るように気長に待ちた
い。(渡部 豪士 記)